

1. 子育て家庭を支援するための環境づくり								
（１）教育・保育サービスの充実								
No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
1	通常保育事業の推進	入所定員：1,990人 受入可能数：2,388人	入所定員：1,958人 受入可能数：2,349人	こども育成課		入所定員：2,174人 受入可能数：2,417人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
2	延長保育事業の推進	実施園：28園	実施園：28園	こども育成課		実施園：35園	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
3	休日保育事業の推進	実施園：2園 定員数：30人	実施園：2園	こども育成課		実施園：2園 定員数：30人	受入体制の課題解決に向けた取り組みの検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
4	夜間保育事業の推進	実施園：1園 定員数：30人	実施園：1園	こども育成課		実施園：1園 定員数：30人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が必要。	令和6年度に定員を20人に変更したものの、現在の施設数と定員を維持して、継続実施。
5	保育所の整備	第1福ちゃん保育園増改築 認定こども園はるとり保育園増改築	継続実施	こども育成課		あいこう認定こども園の建替え（1/2年目）	計画的に整備を進めるべく、意向調査も含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
6	乳児保育事業の推進	実施園：29園	実施園：29園	こども育成課		実施園：30園	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
7	保育所職員に対する研修の推進	釧路市保育研修会：1回 291人参加	年1回実施	こども育成課		釧路市保育研修会：3回実施 392人参加	保育と教育の部分が充足できる研修の実施。	関係機関と協議しながら、継続実施。
8	障がい児保育事業の推進	実施園：11園 受入人数：34人	実施園：11園	こども育成課		実施園：12園 受入人数：77人	多様化する子供の特性に合わせた保育の実施の検討。	実施園の拡大を目標に、関係機関と協議調整を継続。
9	病児保育事業の実施	実施園：1園	実施園：1園	こども育成課		実施施設：2か所	利用しやすい環境づくりの検討	関係機関と協議しながら、継続実施。
10	認定こども園の普及推進	情報提供実施 認定こども園への移行数：6園	継続実施	こども育成課		情報提供実施 認定こども園への移行数：3園	多様な保育ニーズの必要性があるかも含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
11	認可保育所、幼稚園、認定こども園と小学校の連携	小学校へのなどらかな接続のための連携 （園児の小学校見学・引継ぎシートの活用）	継続実施	こども育成課 教育支援課		小学校へのなどらかな接続のための連携。 （園児の小学校見学・引継ぎシートの活用）	引継ぎシートの活用について、教育委員会と引き続き連携が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施。
（２）地域における子育て支援の充実								
12	乳幼児訪問指導の実施	訪問数：延べ1,428人	継続実施	健康推進課		訪問数：延べ1,097人	家庭への訪問の他、同伴受診等を実施するとともに必要に応じ、関係機関へ繋げている。	継続実施
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,226人 ひとり親家庭の優先利用	実施箇所：1箇所	こども育成課		実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,142人	送迎のみに特化した準提供会員の新設や利用しやすい環境づくりの検討。提供会員の確保。	関係機関と協議しながら、継続実施。
14	就学援助費の支給	支給人員：2,513人	継続実施	教育支援課		支給人員：1,839人	申請もれにより制度がうけられないことがないように周知を行う。	継続実施
15	児童館の運営	21館	21館	こども育成課		21館	施設の老朽化。乳幼児が利用しやすい環境の整備等、一般利用者定着に向けた取組。	施設の老朽化や人口減少に応じた効率的な運営について検討し、他の公共施設との集約化・多機能化を検討するとともに、適切な維持管理に努め、長寿命化を図っていく必要がある。
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	ショートステイ：27件/87日 トワイライトステイ：13件/21日	継続実施	こども支援課		ショートステイ：96件/356日 トワイライトステイ：12件/22日	必要としている世帯への多様な周知方法。	受入先との速やかな調整と継続。
17	一時預かり事業の推進	実施園：7園 総定員数：96人	実施園：7園	こども育成課		実施園：8園	実施園の拡大に向けた制度の再構築及び、要件の拡大を行った結果についての評価と、多様化する保育ニーズの動向を注視する必要がある。	実施園を拡大し、継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
18	つどいの広場事業の推進	4,449人	継続実施	こども育成課		3,363人	利用者の増加に向けた施策の実施	継続実施
19	家庭児童相談等の充実	家庭児童相談：463件【件数誤り 正:10件】 母子相談：1,721件 父子相談：112件	継続実施	こども支援課		家庭児童相談：25件 母子相談：1,347件 父子相談：125件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報共有。
20	地域子育て支援拠点事業の推進	実施箇所：6箇所	実施箇所：6箇所	こども育成課		実施箇所：6箇所	利用者の増加に向けた施策の実施 関係機関との連携強化	安心安全に利用できる環境作りと相談の実施。
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	町内会、老人クラブ等との交流	継続実施	こども育成課		実施	新型コロナウイルスが第6波に移行したことを受け、交流が再開したしている。活動の推移を注視していく必要がある。	関係機関と協議しながら、継続実施。
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	ガイドブック発行：2,000部	継続実施	こども支援課		ガイドブック発行：1,800部	関係各所と連携し、正確な情報を掲載できるよう努める。	継続実施。
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	なし （令和元年度より実施・令和2年度より拡充）	実施箇所：4箇所	こども育成課 健康推進課		実施箇所：4箇所	6～7か月育児児相談の協働開催や乳児健診への保育士派遣がセンター利用の大きな契機となっている。 相談内容に応じ、医療機関を含む関係機関に繋げることで、切れ目のない体制づくりが図られている。	関係機関と協議しながら、継続実施。
24	保育所の園開放の推進	週1回実施	週1回実施	こども育成課		週1回実施	地域の子育て世帯が利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
25	阿寒幼稚園、マリモ幼稚園開放事業の実施	阿寒幼稚園：9回/66人 マリモ幼稚園：6回/52人	阿寒幼稚園：年9回を継続 マリモ幼稚園：年6回を継続	阿寒保健福祉課		【認定こども園阿寒幼稚園】：28回実施・58人 【マリモ幼稚園】：28回実施・31人	地域の子育て世帯の減少により、利用家庭も減少しているため、参加人数の確保が難しい。	月4回程度という回数を継続し、園開放日を更に広く周知する方法を検討する。
（3）子育て支援ネットワークの構築								
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	—	—	こども支援課	○	—	—	—
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやき隊）	子ども虐待防止講演会参加 代表者会議実施 オレンジリボン運動（オレンジリボン作成・オレンジリボン入りティッシュ配布）	継続実施	こども支援課		子ども虐待防止研修会実施 代表者会議実施 通学路の見守り活動 オレンジリボン運動（オレンジリボン作成・オレンジリボン入りティッシュ配布）	参加者の確保。	各事業への活動参加の呼びかけ。
27	どさんこ・子育て特典制度の推進	加盟店：68件	継続実施	こども育成課		加盟店：80件	道と連携し、制度の推進を図っていく。	継続実施
28	子ども会活動への支援	助成活動支援	継続実施	教育支援課 阿寒生涯学習課		助成活動支援	少子化における活動の縮小	【釧路】継続実施 【阿寒】複数の町内会や関係団体との事業連携の検討。
（4）働きながら子育てしやすい環境の充実								
2	延長保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
3	休日保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
4	夜間保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
6	乳児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	－	－	こども支援課	○	－	－	－
17	一時預かり事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	－	－	こども育成課 健康推進課	○	－	－	－
29	男女平等参画プランに基づき女性団体、他課との共催による啓発講座の開催	他課との共催によるDV防止講演会、男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催 合計 8回 702人	継続実施	市民協働推進課		他課との共催によるDV防止講演会、市主催及び男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催 合計 12回 838人	男女平等参画プランに沿って、より効果的に事業に取り組むために、庁内関係課及び男女平等参画センターとの連携をさらに深めていく	継続実施
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載	継続実施	商業労政課		国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載	積極的に情報収集を行い、より多くの情報を提供する。	今後も継続して周知する。
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	待機児童数 0人	待機児童数 0人	こども育成課		待機児童数 0人	希望する家庭の児童が利用できるよう、現在の環境を維持していく。	継続実施

2. 健やかに生み育てられる環境づくり

（1）安全・安心な母子保健医療等の充実

12	乳幼児訪問指導の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	手帳交付：962件 妊婦相談開催数：258回	継続実施	健康推進課		手帳交付：662件 妊婦相談開催数：255回	母子健康手帳交付数は年々減少しているが、妊娠届時の面談は全数行っており、個々の状況に応じた相談対応が行えている。	継続実施
33	妊婦健康診査の実施	妊婦健診受診票交付数：延べ13,536件 受診総数：延べ11,818件	継続実施	健康推進課		妊婦健診受診票交付数：9,107件 受診数：7,921件	令和5年8月から妊婦健康診査の助成額の増額、また超音波検査の助成を開始したことにより、より一層経済的負担の軽減となっている。	令和6年度より産婦健康診査の一部助成を開始
34	乳幼児健診の実施	乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均96.7% 4ヶ月児健診：99.0% 10ヶ月：93.4% 1歳6ヶ月児健診：99.6% 3歳児健診：95.1%	受診率の平均97.0%	健康推進課		乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均97.3% 4か月児健診：99.2% 10か月児健診：94.8% 1歳6か月児健診：98.7% 3歳児健診：96.7%	目標の受診率は達成している。また、必要に応じ家庭訪問等によるフォロー体制もある。 各健診において、一定数の未受診者は存在するが、家庭訪問等による未受診対策を実施し、状況把握に努めている。	継続実施
35	フッ素塗布の推進	塗布率：55.3%	塗布率：70%	健康推進課		塗布率：33%	対象年齢の拡大等、制度の変更があったため、塗布率向上にむけ、制度周知の徹底を図る。 今後も健診等での周知を行う。	継続実施。
36	歯科健診の実施	むし歯のない児の割合 1歳6か月児：96.5% 3歳児：79.9%	1歳6か月児のむし歯のない児の割合98.7% （H29全国平均）	健康推進課		むし歯のない児の割合 1歳6か月児：98.9% 3歳児：87.2%	一定数の「う歯」保有者がいるが、徐々に減少傾向である。	継続実施
37	子育て支援のための環境づくり	サークル支援・サークル室の利用：106回実施	継続実施	こども育成課		サークル支援・サークル室の利用：100回実施	母親の就労等により活発なサークル活動時期が短期化している。	構成メンバーの多い活動時期の育成支援を充実。
38	子育て教室の実施	【釧路】子育て支援拠点センターにて4クール実施 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：17回（停電により1回中止） 参加者数：延べ194名	【釧路】子育て支援拠点センター 開催回数：4クール（16講座） 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：18回	こども育成課 阿寒保健福祉課		【釧路】子育て支援拠点センター4クール 開催回数：4クール（16講座） 参加者：480名 【阿寒】令和4年度に認定こども園阿寒幼稚園が開園し、未就園児の子育て支援事業が開始されたため、未就園児を対象としたわんぱく広場事業は令和3年度で終了。	【釧路】居住地域や交通手段によって、参加機会に偏りが生じている。	【釧路】どの地域からも参加しやすい開催場所の検討や環境整備を推進。
39	マタニティ講座の開催	日曜マタニティ講座 年6回：延べ238人 （定員（組）に対する参加割合99.2%）	継続実施	健康推進課		・年21回、延279人 マタニティ講座（集団開催）：6回、延263人 //（個別対応）：9回、延16人 ・定員（組）に対する参加割合＝118%※体調不良や家族都合など事情により集団開催に参加できない場合に個別対応するなど、可能な限り受け入れを実施したことによる。	参加希望者に対し、集団開催に限らず個別対応を行うことにより、柔軟に対応することができている。	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
40	事故防止啓発事業の推進	発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	継続実施	健康推進課		発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	必要に応じ、事故予防について説明している。	継続実施
41	予防接種の実施	BCG：931人 四種混合：3,906人 不活化ポリオ：36人 麻しん・風しん：1,990人 二種混合2期：1,096人 ヒブ：3,859人 小児用肺炎球菌：3,866人 子宮頸がん：8人 日本脳炎：8,148人 水痘：1,806人 B型肝炎：2,871人	継続実施	健康推進課		BCG：673人 四種混合：2,789人 不活化ポリオ：0人 麻しん・風しん：1,451人 二種混合2期：683人 ヒブ：2,611人 小児用肺炎球菌：2,606人 子宮頸がん：1,343人 日本脳炎：3,782人 水痘：1,313人 B型肝炎：1,931人 ロタックス：1,241人 ロタテック：8人	小児科開業医の高齢化。	継続実施。
42	妊産婦訪問の実施	全戸訪問：実730件 養育支援訪問：実288件	継続実施	健康推進課		全戸訪問：実470件 養育支援訪問：実195件	訪問を希望しない家庭には、その他の母子保健事業や関係機関との連携の中でアプローチし、必要な支援に繋げている。	継続実施
43	育児相談の実施	6～7か月育児児相談：40回/延べ906人利用	継続実施	健康推進課		6～7か月育児児相談：35回/延べ631人利用	一定数の未受相者が存在する。	継続実施
44	未熟児養育医療費給付	給付対象者数：16人 給付金額：4,899千円	継続実施	医療年金課		給付対象者数：年28人 給付金額：12,247千円	養育医療の対象となる乳児を把握し、対象者へ確実に給付を行えるよう、医療機関との連携を強化する必要がある。	継続実施。
45	小児救急医療体制の充実	拠点病院 1 箇所	継続実施	健康推進課		拠点病院 1 箇所	なし。	継続実施。
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	助成対象者数：年11,925人 助成件数：104,520件 助成金額：190,495千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年14,773人 助成件数：150,759件 助成金額：366,617千円	なし	令和6年11月から、高校生等の通院にかかる医療費を無料とする制度拡大を行う。
47	産後ケア事業の実施	なし （令和元年度より実施）	継続実施	健康推進課		1泊2日：48組 2泊3日：3組	令和4年度からの対象及び実施機関の拡大に伴い、利用数が増加した。	必要な対象者が利用しやすい体制整備のひとつとして、令和6年度から利用者負担金の減免を開始。
(2) 「食育」の推進								
48	魚食の普及及び啓発	【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施：計11回/延べ419人 【小学校】 5種18回実施：さんま5、さば3、たら1、ししゃも1、昆布8回 【中学校】 8種27回実施：さんま3、さば4、たら2、ししゃも1、鮭3、いか3、いわし4、昆布7回	継続実施	水産課 教育支援課		【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施計20回 延べ423名 【小学校】 4種類16回実施：さば3、いわし4、たら1、昆布8 【中学校】 4種類20回実施：さば2、さけ2、ほっけ2、昆布14	【水産課】 ・講師の確保 ・魚種の偏り 【教育支援課】 釧路産の魚を積極的に使用したいが、漁獲量の減少により、提供に十分な量の確保が難しいことや価格の高騰により、限られた給食費の中でどう提供していくかが課題である。	【水産課】 料理教室や講座等の内容の充実化 【教育支援課】 ふるさと釧路の食の豊かさを再認識してもらうため、今後も釧路産の魚介類を使用した給食を提供する。
49	幼児食育教室の開催	5回実施：88組	5回実施	こども育成課		6回実施：91組 （離乳食教室、食育講座）	講話の中での離乳食の試食等、講座内容について検討する。	年5回継続実施。
50	食育事業の推進	【教育総務課（旧：学校給食課）】 試食会実施回数：小学校/23回・中学校/9回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園で食育指導の実施 ・保護者向け給食試食会と食育講話の実施 ・地産地消の日の実施：27回 【農林課】 JA及びよつ葉乳業協力のもと、小学生を対象に地元食材を用いた調理実習の実施：5校 【阿寒】 市立幼稚園で食育指導の実施	継続実施	教育支援課 こども育成課 農林課 阿寒保健福祉課		【教育支援課】 試食会実施回数：小学校/4回・中学校/2回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園での食育指導の実施 ・保護者向け給食試食会と食育講話の実施 ・地産地消の日の実施：5回 ※保護者向け給食試食会と食育講話は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【農林課】 ・市内幼稚園や保育園において、牛乳に関する食育授業を実施：4園 【阿寒保健福祉課】 食育指導の実施 認定こども園阿寒幼稚園：実施7回 マリモ幼稚園：実施7回	【教育支援課】 家庭における望ましい食習慣が図られるよう、学校と家庭が一体となった食育の推進を図る必要があるが、コロナ禍により、試食会を開催することが難しい状況であった。 【こども育成課】 給食試食会等は実施できない状況であったが、再開を検討する。 【農林課】 酪農業・牛乳への親近感の醸成、信頼感の向上 【阿寒保健福祉課】 阿寒幼稚園：味わう食育に偏り、3大栄養素等の指導が足りなかった。 マリモ幼稚園：引き続き、感染対策に配慮した活動内容と実施時期を検討する。	【教育支援課】 家庭における食に対する関心及び理解を深め、望ましい食習慣が形成されるよう、今後も試食会を実施し意識啓発に取り組む。 【こども育成課】 継続実施 【農林課】 継続実施 【阿寒保健福祉課】 【阿寒保健福祉課】 阿寒幼稚園：味わう食育、育てる食育と共に3大栄養素について知る機会を栄養士の指導のもと計画し実施する。 マリモ幼稚園：継続実施
51	親と子の料理教室	開催回数：2回 参加数：延べ14組	継続実施	音別保健福祉課		開催回数：1回 参加数：延べ4組	新型コロナウイルス等の感染症対策	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
52	地場産品普及促進事業の展開	・各学校に対し、エソジカ肉、オロナミンC、根釧牛乳等 地場産品を題材にした出前授業の実施 ・こども育成課に対する認可保育所、認定こども園での 「ふるさと給食」実施に係る食材の情報提供	継続実施	産業推進室		・各学校に対し、エソジカ肉、オロナミンC、根釧牛乳等 地場産品を題材にした出前授業の実施	生産者や企業と消費者を繋ぐ継続した取組が必要である。	「地場産品を買ってもらう取組」と「消費者と企業を繋ぐ 取組」を継続して進めていく。
（3）学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実								
53	リーフレットの作成・配布	辞典722冊配付 リーフレット(高校生用)：1,656枚配布 リーフレット(中学生用)：1,499枚配布	継続実施	健康推進課		【配布】 辞典2冊配布 リーフレット（高校生用）：1,780枚配布 リーフレット（中学生用）：1,241枚配布 リーフレット（特別支援学校用）：6枚配布 【作成】 リーフレット（中学生用）：4,000枚作成	内容について、関係者と様々な角度から見直しを行う作業 を引き続き行う。	継続実施
54	高校生ライフデザイン講座の実施	10校：1,613人実施	全校実施	健康推進課		11校 11回：1,674人	梅毒の増加など、性をとりまく課題の変化に応じ、適切な 情報提供について講師、学校関係者等との検討を引き続き 行う。	継続実施
55	中学生思春期ライフデザイン講座の実 施	17校 18回：1,527人実施	全校実施	健康推進課		16校 16回：1,086人	理解度や性に対する意識が様々な生徒に対し、効果的 な指導内容について、学校関係者と連携し検討をすめ る。	継続実施
56	保護者・関係職種のための研修・学習 会、ネットワーク会議などの開催	研修会3回：182人実施 会議1回：23人実施	会議1回	健康推進課		研修会 1回 141人 会議 1回 23人	関係者と協働しフレコンセプションケアについて研修会を 開催し、課題共有を実施している。	継続実施
57	思春期相談	思春期相談ダイヤル：12件	継続実施	健康推進課		電話 13件 来所 2件	相談先は各校やリーフレット等を通じ、周知はできてい る。	継続実施
（4）結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の推進								
1	通常保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
2	延長保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
3	休日保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
4	夜間保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
5	保育所の整備	－	－	こども育成課	○	－	－	－
6	乳児保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
7	保育所職員に対する研修の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
8	障がい児保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
9	病児保育事業の実施	－	－	こども育成課	○	－	－	－

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
10	認定こども園の普及推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
12	乳幼児訪問指導の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
14	就学援助費の支給	－	－	教育支援課	○	－	－	－
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	－	－	こども支援課	○	－	－	－
17	一時預かり事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
18	つどいの広場事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
19	家庭児童相談等の充実	－	－	こども支援課	○	－	－	－
20	地域子育て支援拠点事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	－	－	こども支援課	○	－	－	－
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	－	－	こども育成課 健康推進課	○	－	－	－
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやき隊）	－	－	こども支援課	○	－	－	－
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	－	－	商業労政課	○	－	－	－
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	－	－	こども育成課	○	－	－	－
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	－	－	健康推進課	○	－	－	－
33	妊婦健康診査の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
34	乳幼児健診の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
35	フッ素塗布の推進	－	－	健康推進課	○	－	－	－

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
36	歯科健診の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
37	子育て支援のための環境づくり	－	－	こども育成課	○	－	－	－
38	子育て教室の実施	－	－	こども育成課 阿寒保健福祉課	○	－	－	－
39	マタニティ講座の開催	－	－	健康推進課	○	－	－	－
40	事故防止啓発事業の推進	－	－	健康推進課	○	－	－	－
41	予防接種の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
42	妊産婦訪問の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
43	育児相談の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
44	未熟児養育医療費給付	－	－	医療年金課	○	－	－	－
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	－	－	医療年金課	○	－	－	－
47	産後ケア事業の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
58	E P F（エフ・ピー・エフ・フォー・エム） 独身農業青年と釧路市及び管内町村在住女性との交流会	回数：3回 参加人数：延べ81人	継続実施	農林課		回数：2回 参加人数：延べ3人	参加意欲の向上	継続実施
59	特定不妊治療費助成事業の実施	55件	継続実施	健康推進課		令和4年度から不妊治療が保険適用となったため、 特定不妊治療助成は令和4年度で事業終了	なし。	なし。
60	新婚世帯向け住宅の提供	なし （令和2年度より実施）	継続実施	住宅課		「新婚世帯向け住宅」を4戸提供し、1戸の入居に繋がった。	令和6年度第1回公募において2戸提供したが応募はなかった。	目標戸数の設定は行っていないが、ニーズに合わせ、子育て世帯向け住宅に振り替えるなど検討が必要。
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	【教育支援課輪番校】 実施回数：2回 1校/72人 【健康推進課協力校】 実施回数：2回/延べ100人 【音別】 実施回数：2回/延べ14人	継続実施	教育支援課 健康推進課 音別保健福祉課		【教育支援課輪番校】 実施回数：1回 1校/107人 【健康推進課協力校】 実施回数：6回 3校/延べ234人 【音別】 実施回数：2回/延べ21人	【教育支援課】 なし。 【健康推進課】 より多くの生徒に学習の機会を提供していくことが課題。 【音別】 出生数の減少により、協力していただく親子の選定について課題がある。	【教育支援課】 継続実施。 【健康推進課】 実施の手引きを基に教職員等関係者との連携を強化する。 【音別】 協力していただく親子の選定状況によっては、親子ふれあい体験の実施方法の見直しが必要。
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	3回：計79人	継続実施	阿寒保健福祉課		【認定こども園阿寒幼稚園】3回実施 67人 【マリモ幼稚園】実施なし	交流する機会を継続するために、学校との相互の理解と連携が重要である。	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
3. 子どもの成長を支える環境づくり								
(1) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備								
10	認定こども園の普及推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
11	認可保育所、幼稚園、認定こども園と小学校の連携	－	－	こども育成課 教育支援課	○	－	－	－
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	－	－	教育支援課 健康推進課 宮川保健福祉課	○	－	－	－
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	－	－	阿寒保健福祉課	○	－	－	－
63	教科等の年間指導計画の改善・充実 （豊かな学力の育成）	教科指導の作成率：100％ 学校訪問指導回数：154回	継続実施	教育支援課		教科指導の作成率：100％ 学校訪問指導回数：119回	市教委研究指定校へのサポート体制の整備。	継続実施。
64	教職員研修の支援 （豊かな学力の育成）	研修講座：1,483名	継続実施	教育支援課		研修講座：1,373名	学校教育における今日的な課題や各学校が求める課題解決につながる教育内容や方法について講座を設定する。	継続実施。
65	少人数指導等個に応じたきめ細かな指導の実施 （豊かな学力の育成）	加配措置を受け、 小学校26校のうち、20校で実施 中学校15校のうち、11校で実施	継続実施	教育支援課		小学校25校のうち、11校で実施 中学校14校のうち、12校で実施	なし。	継続実施。
66	実験学習事業の実施 （豊かな学力の育成）	遊学館サイエンスルーム事業 47クラス 1,376名	継続実施	生涯学習課		遊学館サイエンスルーム事業 27校 45クラス 1,188名	担当者間での研修・意見交換など指導者育成に要する労働時間の確保及び安定的な指導者の確保。	小学校からの要望が途絶えることがないようアンケート調査により教員の意見を授業に反映させ、より質の高い授業内容を提供することにより継続実施を目指す。
67	英語指導助手の活用 （豊かな学力の育成）	派遣回数小学校：391回 派遣回数中学校：324回	継続実施	教育支援課		派遣回数小学校566回 派遣回数中学校407回	なし。	継続実施。
68	学校適応指導教室の設置 （豊かな心の育成）	通室児童・生徒：20人	継続実施	教育支援課		通室児童・生徒：23人	なし。	継続実施
69	交流体験等の体験活動支援 （豊かな心の育成）	1回実施：35人参加	継続実施	教育支援課		1回実施：15人参加	なし。	継続実施
70	道徳の時間の確保 （豊かな心の育成）	小・中学校実施率：100％	継続実施	教育支援課		小・中学校実施率：100％	今後は授業改善等、質的な充実が課題。	継続実施
71	教育相談体制の充実 （豊かな心の育成）	教育相談：112件 教育研究センター：46件 いじめカットライン：7件 ふれあい教室相談：48件	継続実施	教育支援課		教育相談：135件 教育研究センター：12件 いじめカットライン：7件	近年は、不登校に係る相談が増えており、これまで以上に学校及び関係機関と連携した対応が必要である。	継続実施
72	いじめ問題対策	Q-Uテスト等実施率：100％ ネットモラル講座：150人参加	継続実施	教育支援課		Q-Uテスト等実施率：100％ ネットモラル講座：180人参加	なし。	継続実施
73	ふるさと学習促進事業の推進 （豊かな心の育成）	くしろ子どもインターンシップ事業：参加者数65人	継続実施	教育支援課		くしろ子どもインターンシップ事業：参加者数39人	なし。	継続実施
74	子どもチャレンジの実施 （豊かな心の育成）	4講座 5回 123人参加	継続実施	生涯学習課		4講座 5回 89人参加	飽きさせない講座内容の充実。	今後も子どもたちが新しいことにチャレンジできるよう、内容の充実及び質の向上を図る。
75	職場体験の充実（豊かな心の育成）	中学校 15校実施	継続実施	教育支援課		11校実施	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けての実施校の減少があった。	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
76	体育の指導の充実（健やかな体の育成）	学校体力向上計画作成率100%	継続実施	教育支援課		学校体力向上計画作成率100%	実効性のある取組を充実させることが必要。	継続実施
77	同好会、部活等の充実（健やかな体の育成）	運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：27.6% 部活動：51.2% 外部指導者登録者数：300人	継続実施	教育支援課		運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：44.8% 部活動：38.9% 外部指導者登録者数：201人	競技人口の減少等に伴う合同チーム化による生徒指導、事故・怪我への学校での対応の難しさがある。	継続実施
78	コミュニティ・スクールの推進	小学校 導入率23.1% 中学校 導入率20.0%	小学校 導入率60.0% 中学校 導入率40.0%	教育支援課		小学校 導入率61.5% 中学校 導入率46.7%	コミュニティ・スクール制度の活動をより建設的にするためには、地域住民や学校が共通認識できる目標を自主的に見つけ、積極的な議論のもとにより多くの意見を反映させる必要がある。	継続実施
79	小学校と中学校の情報交換会の開催	校区内小学校との引継実施率：100%	継続実施	教育支援課		校区内小学校との引継実施率：100%	不登校、問題行動のある児童生徒の確実な引継ぎ。	継続実施
(2) 子どもの健全育成の推進								
15	児童館の運営	—	—	こども育成課	○	—	—	—
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	—	—	こども育成課	○	—	—	—
80	子供交流館等の運営	延べ利用児童数：2,927人	継続実施	阿寒保健福祉課		延べ利用児童数：1,045人	地域の子供の人数の減少により、利用児童も減少している。また、現在1名欠員となっている職員の確保が必要。	未就園児親子が利用しやすい工夫と、利用児童の安全・安心に留意した取り組みを継続する。
81	放課後子ども広場の運営	延べ利用児童者数：2,404人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数35人）	継続実施	音別保健福祉課		延べ利用児童者数：4,204人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数0人）	児童数が減少傾向のため利用者も減少する可能性がある。	継続実施
82	放課後子ども教室の運営	1箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	継続実施	教育支援課		1箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	事業を担うスタッフの人材確保が困難であることや、参加児童数の増加に向け、活動内容や体験活動を充実させる必要がある。	継続実施。
83	青少年健全育成の啓発活動の実施（くしろの子ども大集合）	実施（全小中学校） 参加：596人（保護者・教職員含む。）	継続実施	教育支援課		釧路市内各中学校及び北陽高等学校の生徒会代表・保護者・地域が「仲間とのつながりを深めるために～学校や地域でできること～」をテーマにグループディスカッションを実施した	引き続き、学校・保護者・地域が協働し、全市的な取り組みにつなげていく。	令和3年度より形態を変更して実施。
84	青少年交流事業の実施	鹿児島県出水市の鶴荘学園・高尾野中学校ツルクラブ釧路瀬原研修により22人が来釧	継続実施	教育支援課		鹿児島県出水市の鶴荘学園・高尾野中学校ツルクラブ釧路瀬原研修により28人が来釧	なし。	継続実施
85	「少年の主張」釧路市大会の実施	開催回数：1回	継続実施	教育支援課		6月3日実施	なし。	継続実施
86	ジュニアリーダー養成研修等の実施	開催回数：7回	継続実施	阿寒生涯学習課		当初予定回数：5回 化石発掘体験学習：6人参加 ※熱中症予防及び参加者不足のため4講座を中止	少子化における参加人数の減少	関係団体との共催などにより事業内容の充実や周知の強化を図る。
87	遊び体験事業の実施	伝承遊び：312回/952人 工作遊び：588回/10,400人 遊びんピック 10月(3日間)/4,053人	継続実施	生涯学習課		伝承遊び：300回/1,251人 工作遊び：564回/6,322人 遊びんピック 10月(3日間)/8,422人	いつ来ても新鮮な気持ちで遊び・学びが提供できるイベント数及び内容を確保することともに、限られた人員配置の中でのイベントづくり。	幅広い層に遊び・学びが提供できるようボランティアを取り込みながらイベントの充実により継続実施を目指す。
88	幼年消防クラブ活動の実施	21組織：1,271人	継続実施	消防本部予防課		20組織：1,353人	活動内容について、各組織で企画運営しており担当課として積極的に消防イベントの参加を促してはいない状況。	幼年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。
89	少年消防クラブ活動の実施	3組織：428人	継続実施	消防本部予防課		3組織：214人	活動内容について、各組織で企画運営しており担当課として積極的に消防イベントの参加を促してはいない状況。	少年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
90	多様な体験活動の充実	・博物館で遊ぼう：225人 ・夏休み親子土器作り教室：25人 ・化石クリーニング教室：20人 ・おそなえもちをつくろう：51人	継続実施	博物館		・博物館で遊ぼう：287人 ・壁穴住居で屋根ふき体験：6人 ・3Dプリンターでつくるオサムシ拡大模型：14人 ・クワガタムシの樹脂封入標本づくり：12人 ・霧多布子どもバスツアー：13人（環境保全課と共同開催） ・化石クリーニング教室：21人 ・おそなえもちをつくろう：24人 ・アイヌ語で歌って踊ろう！！：10人	ターゲットを絞った適切な周知方法、参加しやすい日程の設定等の再検討が必要。	市民ニーズの把握と周知方法の再検討、事業内容充実に努める。
91	ファイヤーティーチャー事業の実施	5校：224人	継続実施	消防本部予防課		3校：74人	ファイヤーティーチャー事業としての実施はなく、F育や防災体験学習といった類似の事業として実施している状況。今後これらの事業を整理し一本化していく必要がある。また、例年同じ学校が申込をする傾向にあるため、地域によっては実施されていない状況。	依頼が来てから実施するような受け身の体制ではなく、消防側から自発的に防火・防災教育の重要性を発信し、子供達が学習する機会を増やしていく。
92	まなぼっとわくわく体験隊の実施	実施回数 13回：30人参加	継続実施	生涯学習課		1講座 13回 116人参加	飽きさせない講座内容の充実。	異年齢の仲間づくりやおもしろい体験が提供できるよう、今後も内容の充実及び質の向上を図る。
93	児童手当の支給	現況届提出率99.9% 受給者：10,116人	現況届提出率 100%	こども支援課		現況届提出率 100% 受給者：8,085名	必要としている世帯への多様な周知方法	継続実施
94	青少年健全育成事業の実施	【釧路】34小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室、親子そば打ち体験教室の実施2教室：36人 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	継続実施	教育支援課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		【釧路】32小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室：4家族9人 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	【釧路】なし。 【阿寒】サークルをはじめとする各種団体等と連携体制の継続 【音別】学校と連携をとり、児童生徒への啓発活動を積極的にを行い、地域全体で見守る意識の高揚を図る。	関係団体や学校などが協力し、地域で子どもたちの心身の健やかな成長を図るため、継続して実施する。
95	芸術鑑賞会の実施	【阿寒】青少年芸術劇場（小学生対象）1回：169人鑑賞 【音別】1回開催：104人鑑賞	継続実施	阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		青少年芸術劇場【阿寒】（小学生対象）1回開催：134人鑑賞 【音別】（小・中学生対象）1回開催：75人鑑賞	学校行事と重ならないよう、開催時期の調整が必要である。	アンケートの活用など、興味・関心が高まる題材の選定をし、今後も継続実施する。
96	親子自然ふれあいヤマへ放流事業の実施 R2.4～名称変更「自然ふれあい事業」	7/21開催：参加者34人（小学生14人・大人20人）	継続実施	音別生涯学習課		7/22開催：参加者25人（こども11人・大人14人）	児童・生徒の減少により参加者数が減少傾向にある。	自然とのかかわり且つ魅力ある事業内容を検討していく。
97	こども読書活動推進事業の実施	・育成講座：2回/40人参加 ・学校ブックフェスティバル：2,350人参加 ・職員派遣：6回実施 ・読書活動サポートセット：5校 ・おはなし会等：274回/2,434人参加（釧路） 43回/290人参加（阿寒） 35回/278人参加（音別）	継続実施	生涯学習課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		・育成講座：1回/8人参加 ・学校ブックフェスティバル：927人参加 ・職員派遣：10回実施 ・読書活動サポートセット：27校 ・おはなし会等：278回/1,406人参加（釧路） 22回/116人参加（阿寒） 17回/94人参加（音別） ・読書週間に合わせた事業等 くしろの読書週間（市内全域） こども読書週間等フェア開催（阿寒）：3回	各館において各種事業の実施及び地域に向けた積極的な情報発信を行っているが、児童生徒数の減少に伴う参加者数減少や参加者の固定化がすすんでいるほか、ボランティアをはじめとした事業協力者の確保、育成が課題となっている。	各所と連携した積極的な事業周知をはじめ、既存事業及び児童生徒を対象にした催しの充実を図るとともに、子どもたちの読書活動を支援する人材の発掘及び育成に努めながら、今後も継続して行う。
98	心の教育推進会議の開催	2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	継続実施	教育支援課		2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	なし。	2回 青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施する。
99	社会を明るくする運動の推進	7/7街頭啓発実施：22団体/154人の参加	継続実施	教育支援課		7/28街頭啓発実施：11団体/40人の参加	なし。	SNS等を活用した啓発活動を継続するとともに、集合形式の街頭啓発を7月の強調月間を実施する。
100	補導巡視活動の実施	巡回実施数：645回 従事者数：延べ1,964人	継続実施	教育支援課 （青少年育成センター）		巡回実施数：589回 従事者数：延べ1,790人	補導員の確保	継続実施。
101	ファミリーサポート事業の実施	支援件数：6件 （新規6件・終了6件）	継続実施	教育支援課 （青少年育成センター）		支援件数：0件 （新規6件・終了6件）	なし。	継続実施。
102	町内巡視	【音別市民課】徒歩巡視1回：車輛巡視 60回 【音別生涯学習課】徒歩巡視1回	継続実施	音別市民課 音別生涯学習課		【音別市民課】徒歩巡視0回：車輛巡視4 1回 【音別生涯学習課】巡視予定のイベントが中止や日中開催となったことにより、未実施	特になし。	【音別市民課】防犯の観点から、実施可否について協議により判断する。 【音別生涯学習課】啓発活動として今後も実施する。
103	有害環境浄化事業の実施	・コンビニエンスストア118店、書店6店、複合施設等13店舗への陳列方法等の点検と指導 ・携帯電話販売店31店に対するフィルタリングの推奨	継続実施	教育支援課 （青少年育成センター）		・コンビニエンスストア103店、書店6店、複合施設等5店舗への陳列方法等の点検と指導	有害環境浄化モニター担い手の確保	継続実施。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
（３）家庭や地域の教育力の向上								
28	子ども会活動への支援	－	－	教育支援課 阿寒生涯学習課	○	－	－	－
97	こども読書活動推進事業の実施	－	－	生涯学習課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課	○	－	－	－
104	あけぼのマミースクールの開催	24回開催：延べ135人参加	24回開催	こども支援課		24回開催：延べ49人参加	新たな利用者の確保。	関係機関からも周知依頼。
105	新入学児童子育て講話の実施	実施26校 受講者数1,095人 参加率91％	参加率：90％以上 （講話参加者数/新入学保護者数）	教育支援課		新型コロナウイルス感染症予防のため中止	コロナ禍において、多くの保護者を一堂に会した講話等の実施が困難であったため、望ましい生活習慣に関するリーフレットの配布により啓発に努めてきた。リーフレットは目で読めるものとして、講話とはまた違った効果が生まれ、保護者の子育て意識の向上に繋がっており、今後もリーフレットによる家庭教育支援を継続すべきと考えている。	望ましい生活習慣に関するリーフレットの配布により望ましい生活習慣の構築に向け、啓発を行う。
106	家庭教育講座の実施	家庭教育講座を開催している小中学校及び幼稚園保育所の割合 小19.2％ 中20.0％ 幼保37.7％	小50.0％ 中50.0％ 幼保50.0％	教育支援課		小3.8％ 中0％ 幼保4.2％	なし。	継続実施。
107	学校支援ボランティア事業の充実	登録者数：800人	継続実施	教育支援課		登録者数：634人	なし。	継続実施。
108	子ども会等地域活動の機会の充実	公民館分館事業への活動助成支援	継続実施	阿寒生涯学習課		公民館分館事業への活動助成支援	事業内容のマンネリ化	多世代による交流など、地域文化やコミュニティが深まる事業の検討
109	高齢者と子どもの交流イベントの開催	【介護高齢課】 実施回数4回：参加者1,337人 【阿寒保健福祉課】 実施回数1回：参加者67人	【介護高齢課】 実施回数 4回 【阿寒保健福祉課】 実施回数 1回	介護高齢課 阿寒保健福祉課		【介護高齢課】 実施回数1回：参加者556人 【阿寒保健福祉課】令和5年度より、地域の子育て世帯の減少により参加者が見込めないことから事業廃止。	【介護高齢課】 高齢者人口は増加しているが老人クラブ会員数は減少しており、当該イベントの参加者数も減少傾向にある。	【介護高齢課】 今後も継続実施していきたい。
110	スポーツ少年団の活動の支援	交流大会10種目 1,123人 【釧路】57団体 団員数：1,157人 【阿寒】1団体 団員数：89人 【音別】1団体 団員数：17人	継続実施	スポーツ課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		交流大会8種目 911人 【釧路】47団体 団員数：766人 【阿寒】1団体 団員数：46人 【音別】1団体 団員数：25人	【釧路】 交流大会に関しては前年度の基準を維持できているが、少子化・スポーツ離れによる回数および団員の減少が著しい。 【阿寒・音別】 児童生徒の減少やスポーツ離れによる団体数や団員数の減少、特に団体競技の団体維持が難しくなっている。	【釧路】 新規団立ち上げの積極的なサポートや、少年団未所属の子供たちも参加できるイベントによる関口拡大を図り、少年団加入への流れを確立する。 【阿寒・音別】 スポーツ事業を通じ、地域としてのスポーツ少年団活動の増加・育成につなげたい。
111	スポーツ教室の開催	【釧路】13種目17教室：757人 【阿寒】4種目 6教室：1,235人 【音別】4種目 4教室：59人	継続実施	スポーツ課 阿寒生涯学習課 音別生涯学習課		【釧路】9種目21教室：1,679人 【阿寒】4種目 6教室：429人 【音別】4種目 4教室：66人	【釧路】 少子化並びに家庭の共働き世帯増加に伴い、子供向け教室への母親の協力を得づらく、参加を断念する件数が増加している。 【阿寒・音別】 少子化の影響により児童・生徒数が減少していくなかで、参加人数が少なく中止となる教室があるなど、新規の参加者募集と定着の取り組みが求められる。	【釧路】 開催期間や分野の見直しを図り、家族・勤務形態といったさまざまな参加者のニーズに対応した教室開催を検討し、受講者増加につなげたい。 【阿寒・音別】 学校や関係機関との連携を図りながら、事業内容の見直しを行い、今後も事業を継続していく。
112	自然体験活動の機会の提供	①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ②釧路温泉こどもレンジャー2回実施（雨天中止1回）	①継続実施 ②釧路温泉こどもレンジャー：3回実施	環境保全課		①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ②釧路温泉こどもレンジャー3回実施	①クラブ数の減少 ②参加人数の減少	①こどもエコクラブの周知に向けた取り組み。 ②継続実施
113	外部人材の活用等による教育活動の充実	小・中学校実施率 100％	継続実施	教育支援課		小・中学校実施率 100％	コロナ禍における行動制限等の影響により、外部講師招聘に苦慮した。	継続実施。
114	世代間交流の推進	9/30開催 参加者58人 （小学生19人・中学生2人・成人16人・老人21人）	継続実施	音別生涯学習課		9/24開催 参加者35人 （小学生5人・成人20人・老人10人）	依然としてシニア世代の活動が衰退傾向にある。 また、昨年度は参加団体の事業と日程が重複し参加者が減少の要因となったことから、事前の日程調整が必要である。	幅広い年齢層を対象とした事業のため、気軽に参加できるよう、周知方法や内容の充実を図れるよう工夫し、今後も事業を継続していく。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
4. 子どもと子育て家庭にやさしい環境づくり								
（１）安心して子育てできる生活環境の整備								
60	新婚世帯向け住宅の提供	—	—	住宅課	○	—	—	—
115	子育て世帯向け住宅の提供	特定目的住宅「子育て世帯向け住宅」の提供戸数：15戸（累計：40戸）	提供戸数：累計100戸	住宅課		令和5年度末時点で「子育て世帯向け住宅」を91戸提供	令和6年度末までに100戸提供することを目標としており、11月の第2回公募でそれが達成される予定となっているが、さらなる子育て世帯への支援が必要ことから、令和11年度までの継続実施が必要。	令和11年度までに150戸提供することを目標として取り組む。
116	生活道路の整備	道路 1,030,890m 歩道 946,953m	継続実施	道路河川課		道路 1,032,288m 歩道 950,847m	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
117	道路交通安全対策	街路灯：9,043基 道路標識：1,107箇所 誘導ブロック：360箇所 防護欄：38.17km カーブミラー：373本	継続実施	道路河川課		街路灯：8,700基 道路標識：1,107箇所 誘導ブロック：360箇所 防護欄：38.17km カーブミラー：377本	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
118	交通安全施設等整備促進	要望・相談等に基づく整備を適宜実施	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】R5.1.30に要望のあった緑ヶ岡5における貝塚通との交差点に設置されているセンサー式信号機についてセンサーの反応が鈍いとの要望あり、改修（R5.1.1改修済）。 【阿寒】なし 【音別】なし	信号機や横断歩道、一時停止標識等の設置や改修の権限は公安委員会にあるため、要望が提出されても必ずしも設置や改修がなされるわけではない。また設置や改修が可となっても道路改良等が必要となる場合もあるため実際の設置までには時間を要することとなる。	継続実施。
119	通学路の安全確保	通学路安全対策連絡協議会 1回開催	継続実施	教育支援課		通学路安全対策連絡協議会 1回開催	なし。	継続実施。
120	妊娠初期を知らせるマタニティシボルの普及	母子手帳交付時、マタニティステッカーなどの配付	継続実施	健康推進課		母子健康手帳交付時、マタニティステッカーなどの配付	母子健康手帳交付時にマタニティステッカーなどを配付することにより、マタニティシボルの普及が図られている。	継続実施。
121	街区公園をはじめとした都市公園等の環境整備	街区公園の継続整備：1箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：8箇所	街区公園の新規整備：3箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：40箇所	公園緑地課 阿寒建設課 音別建設課		街区公園の新規整備：2箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：53箇所	十分な維持補修による安全確保と施設長寿命化	計画に則った公園整備と改築更新の実施。
122	防犯灯の整備	【釧路】 維持灯数：14,538灯（内LED灯：11,910灯） 【阿寒】 維持灯数：340灯（内LED灯：13灯） 【音別】 維持灯数：72灯（内LED灯：72灯）	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】 維持灯数：14,410灯（内LED灯：13,597灯） 【阿寒】 維持灯数： 349灯（内LED灯： 349灯） 【音別】 維持灯数： 407灯（内LED灯： 407灯）	LED灯の耐用年数は10～15年と言われており更新時期を迎えている。 補助対象団体のLED灯更新にかかる財政負担が大きいことから補助を継続して行う。	継続実施。
（２）子どもを交通事故や犯罪等の被害から守る活動の推進								
123	交通安全教育の推進	【釧路】156回：14,527人参加 【阿寒】5回：310人参加 【音別】2回：32人参加	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】144回：12,736人参加 【阿寒】3回： 114人参加 【音別】2回： 40人参加	高齢者が関係する事故の割合は増加する傾向にあり、今後、子どもが犠牲になる事故が増加する可能性も十分考えられるため、これまで以上に交通安全教育の重要性を周知する必要がある。	今後も継続して交通安全教育の推進を図る。
124	交通安全防犯大会	80人参加	継続実施	阿寒市民課		87人参加	大会の意義、目的に対する阿寒地区住民の意識が薄れてきており、今後、大会参加者は減少する可能性がある。	大会の開催の周知方法等を工夫し、今後も交通安全、防犯の啓発活動の一環として、継続して大会を開催する。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
125	「こども110番の家」事業の推進	【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：807店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：20箇所	継続実施	教育支援課 (青少年育成センター) 音別市民課		【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：773店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：20箇所	登録箇所の確保。	継続実施。
126	生活安全施策の推進	釧路市生活安全推進協議会開催	継続実施	市民生活課		釧路市生活安全推進協議会開催	地域での不審者の出沒、また、特殊詐欺の被害は後を絶たず、今後も関係機関との情報共有と連携が必要である。	今後も継続して関係機関との情報共有・連携を図る。
127	防犯の広報啓発	毎月、地域安全ニュースと地域の駐在だよりを全戸に回覧し、啓発を実施	継続実施	阿寒市民課 音別市民課		毎月1回（年12回）	交通安全、防犯の啓発活動の一環として、今後も継続して事業を行う必要がある。	継続実施。
（3）被害に遭った子どもへの支援の推進								
71	教育相談体制の充実 （豊かな心の育成）	—	—	教育支援課	○	—	—	—
5. 配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり								
（1）児童虐待防止対策の充実								
128	釧路市家庭福祉推進連絡協議会(要保護児童対策地域協議会)の機能充実	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	こども支援課		代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	特になし。	継続実施。
129	相談体制の充実、各相談機関のネットワーク強化	要保護児童対策地域協議会 個別ケース検討会議：61回 相談受理件数：189件	継続実施	こども支援課		要保護児童対策地域協議会 個別ケース検討会議：83回 相談受理件数：156件	遅滞なく会議を開催するにあたっての調整。	関係機関との密な連携。
130	児童虐待防止講演会の開催	1回開催	1回開催	こども支援課		1回開催	参加者の確保。	周知や開催方法の検討。
131	児童虐待防止啓発パンフレットの配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校に14,735部配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の全世帯配布	こども支援課		認可保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・中学校・義務教育学校等へ配布	わかりやすく効果的な内容の検討。	継続実施。
132	児童虐待防止オレンジリボン着用の推進	・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー、オレンジリボン横断幕の設置 ・こども支援課及び各支所にてオレンジリボン配布（イトーヨーカドー・釧路店及びザ・ビッグ春採店、ツルハ春採7丁目店、コーチャンフォー・釧路店前にてオレンジリボン入りのポケットティッシュ配布（計1,000個））	継続実施	こども支援課		・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー・オレンジリボン横断幕の設置 ・こども支援課、各支所、病院等でオレンジリボンおよびポケットティッシュ配布	運動のPR方法。	配布場所の検討。
133	育児（養育）支援家庭訪問事業の推進	養育支援回数：852回 産後支援回数：286回	継続実施	こども支援課		養育支援回数：308回 産後支援回数：235回	必要としている世帯への周知。	関係機関への定期的な周知を継続。
134	早期育児支援事業（虐待の予防と早期発見及びその啓発）	・養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 ・妊婦届出受理時に保健師が虐待、ネグレクトの早期発見。乳幼児健診・育児相談等のアンケートを糸口子育て支援につなぐ	継続実施	こども支援課 こども育成課 健康推進課		【こども支援課】 養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 【こども育成課】 保育施設と関係課とのケース会議等で連携して、情報共有や見守りを行った。 【健康推進課】 妊婦届出時に保健師・助産師が虐待、ネグレクトの早期発見に努めるとともに、乳幼児健診や育児相談等の育児に関するアンケートを糸口子育て支援につなぐ	【こども支援課】 課題を抱える世帯への適切なアプローチ方法の検討。 【こども育成課】 地域の子育て支援に係る施設とのネットワークの強化と迅速な連携体制の構築、発見・予防につながる情報提供の充実が重要。 【健康推進課】 妊婦届出時にアンケートの実施や面談を行った上で、必要時関係機関との連携を図り、虐待・ネグレクトの早期発見及び産後うつ予防に努めることが重要	【こども支援課】 養育環境改善及び虐待早期発見のための事業継続。 【こども育成課】 関係機関と協議しながら継続実施 【健康推進課】 関係機関と協議しながら継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
（2）生活困窮世帯、ひとり親家庭の自立支援対策の充実								
135	ひとり親家庭相談の充実	母子相談：1,721件 父子相談： 112件	継続実施	こども支援課		母子相談：1,347件 父子相談：125件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携。
136	ひとり親家庭就労自立支援促進事業の実施	・企業体験事業 2日開催：2人参加 ・企業説明会 1日開催：6人参加 ・お父さん・お母さんの自習室 15日開催：延べ15人参加	企業体験事業 2日開催 企業説明会 1日開催	こども支援課		就労サポート事業 ・就労セミナー1日開催：4人参加 ・企業説明会 1日開催：7人参加 ・ひとり親家庭のための自習室13日開催延べ13人参加	企業・参加者の確保。	開催方法の検討。
137	母子家庭等就業・自立支援事業（母子家庭等就業・自立支援センター）の実施	・講習会12回開催：延べ106人 ・相談件数：481件	講習会 12回開催	こども支援課		講習会3回開催：延べ12人 相談件数： 228件	参加者の確保。	ひとり親世帯の自立促進のため事業継続。
138	児童扶養手当の支給	現況届提出率 99.2% 受給者数：2,714人	現況届提出率 100%	こども支援課		現況届提出率 98.0% 受給者数：2,195人	周知方法の工夫。	現況届未提出者に対する督促の機会を増やす。
139	災害遺児手当等の支給	支給率 100% 災害遺児手当受給世帯：11世帯 卒業祝い金：2件	支給率 100%	こども支援課		支給率 100% 災害遺児手当受給世帯：10世帯 卒業祝い金：3件	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施。
140	女性相談の充実	受理件数：275件	継続実施	こども支援課		受理件数：223件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携。
141	母子寡婦福祉資金の貸付	貸付件数：39件 貸付金額：18,966千円	継続実施	こども支援課		貸付件数：36件 貸付金額：15,000千円	相談者が不利にならないよう適切な対応を行う。	適切な相談対応。
142	ひとり親家庭等の母又は父及び子に係る医療費の助成	助成対象者数：年5,356人 助成件数：37,103件 助成金額：85,856千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年4,262人 助成件数：30,132件 助成金額：70,162千円	親の通院医療費助成を行っている自治体もあり、他都市の状況を把握する必要がある。	令和6年11月から、高校生等の通院にかかる医療費を無料とする制度拡大を行う。
143	生活保護を受けている母子世帯に対する自立支援	OA、介護職員初任者研修等各種資格取得・中学生支援	継続実施	社会援護課		生活保護を受けている母子世帯に対する各種資格取得支援・中学生の高校進学支援を実施した。	支援対象となる生活保護を受給している母子世帯や中学生の数が年々減少している。	生活保護を受けている母子世帯に対する各種資格取得支援・中学生の高校進学支援を継続する。
144	釧路市ひとり親家庭等日常生活支援事業	なし （令和元年度より実施）	継続実施	こども支援課		母子世帯：3世帯 父子世帯：2世帯 派遣回数：323回	必要とする世帯への周知。	相談時等での周知。
（3）障がい児支援対策の充実								
8	障がい児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
145	児童発達支援センター運営の充実	【相談支援】地域支援相談担当 運動：48件 発達：690件 発達障害者支援担当：261件 【保護者向け研修会】 野のはな園：118人	継続実施	児童発達支援センター		【相談支援】地域支援相談係 運動：26件 発達：553件 発達障害者支援担当 ※平成30年度で事業終了 【保護者向け研修会】 野のはな園：111人（子育て教室、講演会等） ※お便りの配布（スマイル子育て便り 年5回発行） 【食育指導】 野のはな園（各クラス）	4年ぶりに、外部講師による保護者向け講演会を実施することが出来た。 本人支援のほか、家族支援も継続して行うことが必要である。	継続実施 障がい特性に合わせた家族支援を行う。
146	特別児童扶養手当の支給	受給者数：458人	継続実施	こども支援課		受給者数：692人	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施。
147	特別支援教育の充実	小学校：25校 中学校：14校	継続実施	教育支援課		小学校：25校 中学校：14校	特別支援教育の対象児童生徒は増加傾向にあるため、限られた人員や設備でどう対処していくかが課題となる。	継続実施。
148	特別支援教育就学奨励費の支給	支給人員：242人 支給額：8,232千円	継続実施	教育支援課		支給人員：388人 支給額：8,885千円	対象者に対し、申請もれにより制度が受けられないことがないように周知を行う。	継続実施
149	居宅介護事業	障がい者・児 利用事業所数：33箇所 利用延べ人数：4,105人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：41箇所 利用延べ人数：3,650人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して在宅重度身体障がい児（者）等に対し、日常生活用具の給付又は貸与を行う。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2023年度（令和5年度）実績	目標に対する現状の課題等	目標に向けた今後の方向性
150	行動援護の支援	障がい者・児 市内事業所数：2箇所 利用延べ人数：195人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：2箇所 利用延べ人数：254人	障がい児（者）の外出や社会参加を支援するため、事業の継続が必要。	利用者のニーズに応じたサービス提供の充実に努める。
151	短期入所事業	障がい者・児 利用事業所数：19箇所 利用延べ人数：753人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：26箇所 利用延べ人数：583人	重症心身障がい児・者の受け入れを行っている施設等が少なく、特に医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者が利用できる事業所の確保が必要。	必要とときに利用できるよう、サービス事業所との調整を通じて受け入れ体制の確保・充実に努めるとともに、重度の障がいのある人に対応できるように事業所への働きかけに努める。
152	補装具の交付	障がい者・児 交付件数 462件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 391件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、障がい児(者)に対して、経済負担軽減のため補装具の交付を行う。
153	日常生活用具の給付	障がい者・児 交付件数 3,404件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 3,357件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して在宅重度身体障がい児（者）等に対し、日常生活用具の給付又は貸与を行う。
154	移動支援事業	障がい者・児 市内事業所数：25箇所 利用者数：39人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：11箇所 利用者数：29人	障がい児（者）の外出や社会参加を支援するため、事業の継続が必要。	利用者のニーズに応じたサービス提供の充実に努める。
155	幼稚園の障がい児受入の充実	対象児：34人 補助金：1,700千円	継続実施	こども育成課		対象児：58人 実施園：16園 補助金：3,400千円	多様化する子供の特性に合わせた、教育・保育の実施の検討。	関係機関と協議しながら、継続実施。
156	児童発達支援事業	市内事業所数：20箇所 利用延べ人数：2,193人	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：42箇所 利用延べ人数：2,973人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に努める。
157	放課後等デイサービス事業	市内事業所数：31箇所 利用延べ人数：5,510人	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：58箇所 利用延べ人数：9,046人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に努める。
158	日中一時支援事業	障がい者・児 市内事業所数：60箇所 利用者数：218人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：61箇所 利用者数：267人	障がいのある児童の増加に伴い、今後も利用者の増加がみこまれ、多様なニーズに対応できる環境や事業所の確保が必要。	地域の実情や利用者のニーズに応じたサービスの提供に努める。
159	保育所等訪問支援事業	利用事業所数：6箇所 利用延べ人数：337人	継続実施	障がい福祉課		利用事業所数：12箇所 利用延べ人数：267人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実に努める。
160	重度障がい児（者）等交通費助成	交付人数：1,140人	継続実施	障がい福祉課		交付人数：1,059人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、重度障がい児(者)の社会参加促進のため交通費の助成を行う。
161	自立支援医療の給付（育成医療）	交付件数：33件 給付額：2,264千円	継続実施	障がい福祉課		交付件数：14件 給付額：2,392千円	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう医療機関と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して、障がい児に対して、経済的負担軽減のため自立支援医療（育成医療）を給付する。
162	障害児福祉手当の支給	交付延べ人数：1,091人	継続実施	障がい福祉課		交付延べ人数：1,041人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、在宅の重度障がい児に対して、経済的負担軽減のため障害児福祉手当を支給する。
163	難聴児補聴器購入等の助成	助成件数：3件	継続実施	障がい福祉課		助成件数：8件	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう北海道釧路鶴野支援学校等と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して身体障害者手帳交付対象とならない難聴児に対し、必要な補聴器の購入及び修理に対する費用の一部を助成する。
164	幼児こども相談室事業の実施	実施なし（休止） （令和元年度より委託開始）	小集団療育・幼稚園等訪問支援の実施を継続	阿寒保健福祉課		小集団開催数：18回 実人数7人/延べ人数32人 幼稚園訪問：10回 実人数3人/延べ人数12人	出生数の減少および就労家庭の増加により利用者の減少	相談機関として継続実施